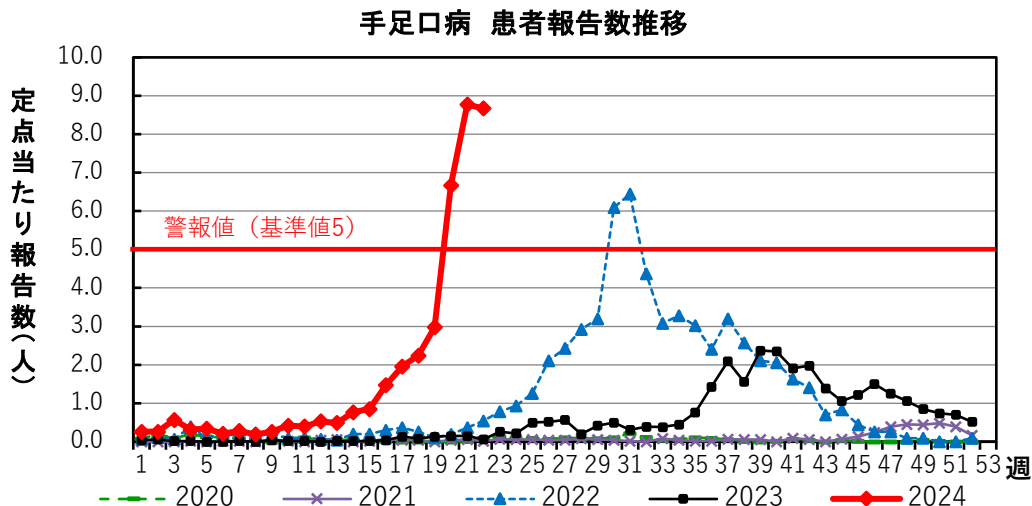


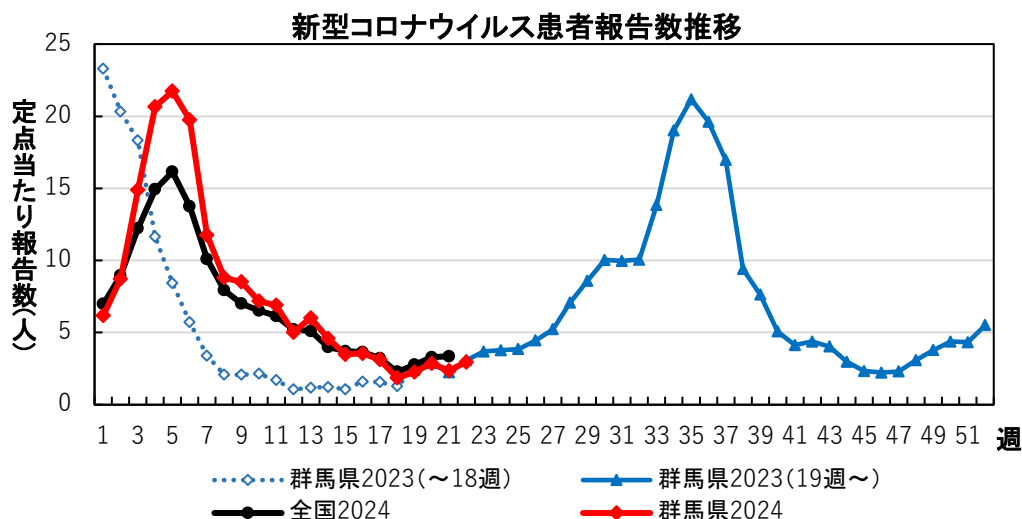
● 手足口病（定点報告疾患）

- ◆ 2024年第22週（5月27日～6月2日）の定点からの報告数は451人（定点当たり8.67人）でした。
【第21週（5月20日～26日）：定点当たり8.77人】
- ◆ 年齢群別で年齢群別で1歳が179人（39.7%）と最も多く、次いで2歳が100人（22.2%）でした。



● 新型コロナウイルス感染症（定点報告疾患）

- ◆ 2024年第22週の定点からの報告数は251人（定点当たり2.95人）でした。
【第21週：200人（定点当たり2.35人）】
- ◆ 年齢群別で50歳代が39人（15.5%）と最も多く、次いで10歳代と40歳代が36人（14.3%）でした。



※2023年第1週から第18週までは厚生労働省が発表した定点医療機関合計報告数と定点当たり報告数（令和4年10月3日～令和5年5月7日の週次データ）から作図

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について (Vol.50)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2024 年第 20 週(5 月 13 日～19 日)まで)

県内では、オミクロン株が 2021 年第 50 週(12 月 13 日～19 日)に初めて検出され、2022 年第 1 週(1 月 3 日～9 日)以降、BA.1 が主な流行となりました。

2022 年第 2 週(1 月 10 日～16 日)に渡航歴のある患者から BA.2 も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。第 9 週(2 月 28 日～3 月 6 日)以降、BA.2 の検出が増加し、主な流行となりました。第 25 週(6 月 20 日～26 日)以降、新たに BA.5 が主流となりました。

2023 年 15 週(4 月 10 日から 16 日)以降は、XBB が目立って検出されるようになり、主流となっていると考えられます。

2024 年は、JN.1 (BA.2.86 系統) や、その他の株が検出されています。

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に変更となりましたが、引き続き医療機関での検体収集の協力により、ゲノム解析による流行株の把握が重要と思われます。

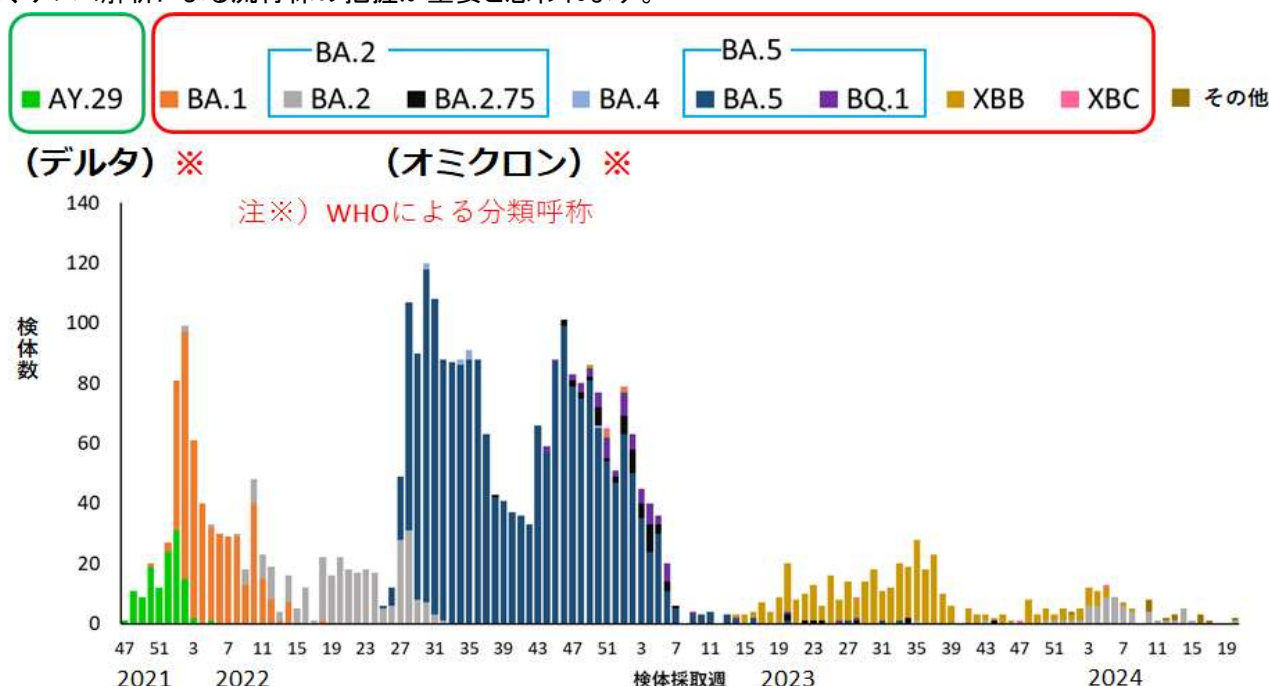


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

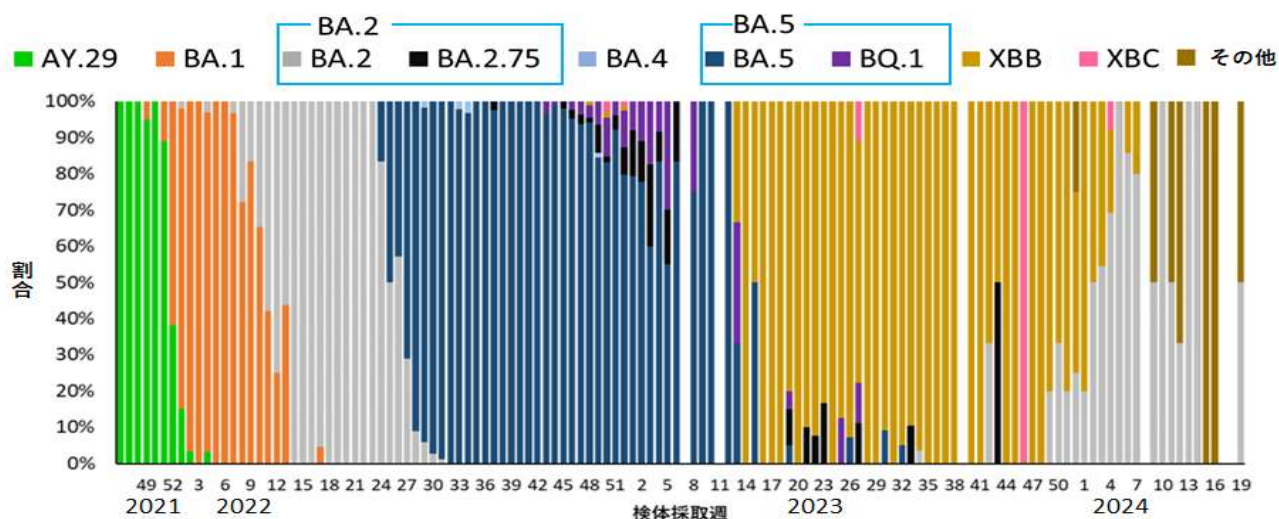


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合%)【群馬県衛生環境研究所実施分】